

City Life NEWS

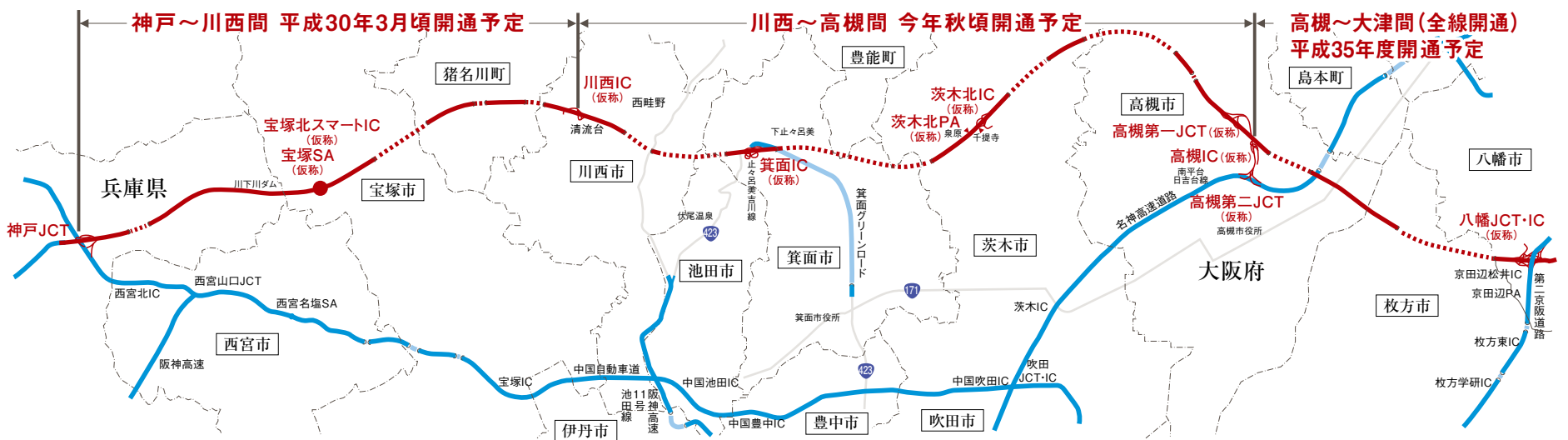
全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS で検索

新名神高速 高槻～神戸間 平成30年3月にも開通予定

新名神高速道路(高槻～神戸間)の開通目標が平成29年度内と発表された。現在の大動脈である、名神・中国道には代替路がないため、北摂、阪神間の高速道路だけではなく、一般道のいたるところで慢性的な渋滞が発生している。新名神の開通には渋滞緩和、災害時のバックアップ機能、さらに地域活性化にも期待できるという。今月はNEXCO西日本に詳しい情報を取材した。



基本計画決定は 平成元年

昭和38年、日本で初めての高速道路である名神高速道路が開通して以来、関西圏と中京圏・首都圏を結ぶ日本の大動脈として、また京阪神圏内の都市間交通機能として人・モノの流れを支え、日本の経済や文化に貢献してきた。しかしながら、現在は交通量の増加による交通混雑が頻繁に発生しており、また、巨大な産業・経済のほとんどが自動車交通に依存しているため、それを支える役割が断絶した場合、生活への影響は計り知れない。新名神高速道路は、名神・中国道と相互に機能を補完し、国土軸のダブルネットワークとして、東西の人、モノの流れを支え、産業・文化・社会経済活動の発展に寄与することが期待されている。平成元年2月にはすでに基本計画が決定。高槻～神戸間においては、平成10年に国土交通大臣から施行命令が出され、平成30年度の開通を目標に事業が進められてきた。現在、当初の目標年度を前倒しにする形で、**今年の秋頃には第一段階として高槻～川西間が開通、来年3月には神戸までの全40.5kmを開通させるべく事業が進められている。**

期待される 渋滞緩和と地域活性

平成35年度には名古屋から神戸まで、全線開通となる。豊田JCT(ジャンクション)～神戸JCT間は、名神・中国道経由では240km・約160分かかるが、より直線的なルートを取る新名神経由では200km・約120分で行けるようになる。**約40分短縮**されることで、**物流や観光の活性化、渋滞の解消**など、さまざまな効果が見込まれている。

現在、新名神と並走する名神・中国道の交通量は**1日約10万台**。特に中国道の宝塚トンネル付近は、週末になれば早朝から夜間まで混雑が続き、全国でも有数の渋滞ポイント。しかし、新名神が開通すれば**10万台のうちの約4割が新名神を利用**すると見込まれており、渋滞の緩和が期待できる。また、名神・中国道と新名神のダブルネットワークにより、南海トラフなどの巨大地震や豪雨等の災害時に一方の道路が寸断された場合にも、代替ルートが機能して生活に及ぼす影響を抑えることができる。

また、高槻～神戸間では、茨木北IC付近にパーキングエリアが設置されるほか、**宝塚地域ではレストランや売店を備えた大型のSA(サービスエリア)も建設される。**宝塚のSAは、**NEXCO西日本のSAの中**

でも特に魅力ある設備で利用客を楽しませる予定だ。また高槻市には、名神と新名神をつなぐ高槻JCT・IC(仮称)が生まれる。高槻市では、これを契機に、IC周辺の交通利便性を活かした製造・物流施設などの立地をめざした土地区画整理事業によるまちづくりに取り組んでおり、全線開通までのまちびらきを予定している。また、茨木市には茨木北IC(仮称)、箕面市には箕面森町付近に箕面IC(仮称)ができることから、周辺には新しく物流センターや工場が建設され、北摂地域全体の発展が期待されている。

子どもたちを中心とした 見学会を実施

NEXCO西日本では数ヶ月に一度、一般の人を対象に高速道路の工事現場等を公開する「なるほど! 高速道路発見」を開催している。高速道路工事への関心や事業への理解を深めてほしいとの目的で始まり、普段は立ち入ることができない橋梁やTNなどの内部を見学できるため、親子に人気を博している。一昨年には建設中の箕面トンネルでも見学会を開き、約30名が参加。今後も、他の事業区間も含めて開催する予定だ。
※工事中のIC等の名称は仮称。



▲高槻第一JCT(仮称)付近 2016年11月(提供:NEXCO西日本)



▲茨木北IC・PA(仮称)付近 2016年11月(提供:NEXCO西日本)



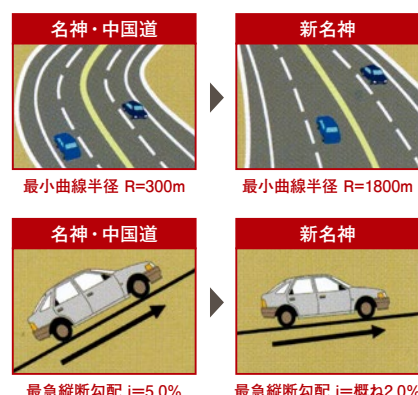
▲箕面IC付近 2016年11月(提供:NEXCO西日本)



▲「なるほど! 高速道路発見」見学会の様子。(提供:NEXCO西日本)

事業経緯(高槻～神戸間)

- 基本計画決定 平成元年2月27日
- 都市計画決定 平成7年7月7日(高槻JCT～箕面IC)
平成7年7月14日(箕面IC～神戸JCT)
- 整備計画決定 平成10年12月25日(高槻JCT～箕面IC)
平成8年12月27日(箕面IC～神戸JCT)
- 施行命令 平成11年12月24日(高槻JCT～箕面IC)
平成10年12月25日(箕面IC～神戸JCT)



■連結位置及び施設

名称	連結位置	連結施設
高槻第一JCT	高槻市	新名神高速道路と連絡路(新名神と名神高速道路)との接続
高槻第二JCT	高槻市	連絡路と名神高速道路との接続
高槻IC	高槻市	高槻東道路、都市計画道路 南平台日吉台線
茨木北IC	茨木市	府道茨木摂津線、府道大岩線
茨木北PA	茨木市	茨木北ICとの併設パーキングエリア(下り線)
箕面IC	箕面市	一般国道423号、箕面グリーンロード(箕面有料道路)